



中学生2人がジョブチャレ中

今週、八幡浜中学校から2名の生徒が、本校に職場体験学習に来ています。千丈小学校出身の菊池さんと神山小学校出身の水沼さんです。二人は各学級の授業に参加し、先生の仕事を体験しながら、子供たちとも積極的に関わっています。

この体験学習は、通称「ジョブチャレ」と呼ばれ、地域の方々の協力を得ながら5日間の職場体験を行う取組です。「現在中学校で学んでいること」と「将来の自分」とのつながりを意識し、一日一日を大切に過ごしながら成長してほしいという願いのもと、県内の中学2年生を対象に実施されています。

一方、小学6年生は「プレジョブチャレ」という取組に参加します。これは、地元の企業や仕事について学び、将来の職業選択への興味や関心を育む教育イベントです。毎年2月に、県内の小学6年生の学級をオンラインで結んで実施されています。地元企業や仕事の魅力に触れることで、中学校での職場体験学習への期待を高めるとともに、働くことの意義ややりがいを知り、将来、地元で働くことへの関心を育むことをねらいとしています。

働くということは、自分と社会を結び付けることでもあります。自分が社会と関わり、誰かの役に立つことで、自分自身も成長していきます。そして、一人一人の働きが積み重なることで、みんなが暮らしやすい社会がつくられていきます。子供たちには、こうした学びや体験を通して、将来の自分の姿を思い描きながら、一日一日を大切に過ごしてほしいと願っています。

働くということは、自分と社会を結び付けることでもあります。自分が社会と関わり、誰かの役に立つことで、自分自身も成長していきます。そして、一人一人の働きが積み重なることで、みんなが暮らしやすい社会がつくられていきます。子供たちには、こうした学びや体験を通して、将来の自分の姿を思い描きながら、一日一日を大切に過ごしてほしいと願っています。

働くということは、自分と社会を結び付けることでもあります。自分が社会と関わり、誰かの役に立つことで、自分自身も成長していきます。そして、一人一人の働きが積み重なることで、みんなが暮らしやすい社会がつくられていきます。子供たちには、こうした学びや体験を通して、将来の自分の姿を思い描きながら、一日一日を大切に過ごしてほしいと願っています。



6月29日、本校に3名のお客様をお迎えしました。八幡浜市教育委員会の藤堂教育長、南予教育事務所の武岡管理主事、八幡浜市教育委員会の菊池教育指導主幹です。武岡管理主事は今回が初めての来校で、正門から見える海の景色に大変感動されていました。

授業を参観していただいた後には、「どの児童も一生懸命に学習に取り組んでいますね。先生方との信頼関係の強さも感じます」とのお言葉をいただきました。また、プールに設置した日差し除けネットを保護者の皆様に張っていただいたことをお伝えすると、学校教育に対する保護者の皆様の温かい御協力にも感心されていました。

日差し除けネットの設置に御協力いただいた保護者の皆様、この場をお借りして心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

豊かな自然と温かい保護者の皆様に支えられながら、これからも子供たちが真穴っ子らしく健やかに成長できるよう、教職員一同、力を合わせて教育活動に励んでまいります。

